



日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.9.19 No. 5197

「一票投票」の中止を!

国労本部に集中する

「一票投票」中止申し入れ!

八・二六国労総会大会において、「方針」として打ち出された、「四党合意」受け入れの賛否を問う全組合員の一票投票の実施に対して、現在までに闘争団を先頭に、国労本部への「一票投票禁止」の仮処分申し立て、「一票投票」の中止を求める申し入れが行なわれ、さらには八月下旬段階で、「四党合意」に対し、大阪・東京・千葉において各地方労働委員会に、自民党運輸省、JR会社等を相手取って不当労働行為の救済申し立てが行なわれている。

「四党合意」に断を!

屈辱的な「一票投票」の中止を

われわれは、「四党合意」などという、一〇四七名の解雇撤回闘争と国労を解体しようとする攻撃を、国労自らが、組織に混乱と大変な亀裂を持ち込むこととなる、「一票投票」の中止を強く訴える。

そもそも「四党合意」とは、この間何度も明らかにしてきた通り、首切りと国家的不当労働行為を認め、自らの手で国鉄労働運動を葬れとする敵の攻撃であり、全面屈伏の強要に他なりません。それを国労本部は規約にもない、「全組合員の一票投票」によって、「四党合意」の賛否を問うという形で、なんとか「受諾」への道を進めようと

しているのです。

不当労働行為の「四党合意」の「賛否」を問う、「一票投票」にかけるなどという屈辱的なことなど即刻中止すべきです。

何よりも「四党合意」をきっぱりと拒否し、「四党合意」に最終的な断を下さなければなりません。

「四党合意」は悪質な支配介入

「四党合意」とは、どれほど悪質な攻撃であるか、それこそ一〇四七名闘争を解体するため、に仕組まれたものであり、国労そのものの変質・解体を狙う攻撃です。また一國労のみでなく日本の労働運動全体の未来に計り知れない影響を与えるものです。

労働委員会制度さえ存亡の危機

そして言うまでもなく、国鉄分割・民営化以降の一三年間の闘い、裁判や労働委員会での主張を自ら否定し、首切りと国家的不当労働行為を認めると迫る、全面屈伏の強要です。

「四党合意」の受諾とは、労働組合の側から労働委員会制度を売り渡すものなのです。

全労働者の権利をかけた闘い!

全社会的に吹き荒れる、国家承認の下でリストラ・首切りされるような法体系が整備されている今日の状況の中、「四党合意」を受け入れるということは、全ての労働者の権利を売り渡すに等しいものです。あくまでも不当労働行為を弾

効し、その責任をとらせることを決意しなければなりません。

組織混乱をもたらす「一票投票」

組合民主主義を踏み躪る行為!

前述のごとく、国労内外から「一票投票」の実施に対して、続々と反対の闘いが開始されています。闘争団からの仮処分申し立て、中止を求める申し入れ、国労千葉地本からも、国労本部に対して、「民主主義を重視しての一票投票というが、一票投票実施は組織の団結を固めるどころか亀裂を職場に持ち込みかねない。解決内容が示されない以上、賛否を問う状態にない。中止を求める」と意見書提出が行なわれています。

このように「一票投票」の中止、撤回の声は国労本部に集中しています。

「一票投票」が組織への大変な亀裂を持ち込むこととなるのは、投票それ自身が「踏み絵」としての要素を色濃く持つことであり、組織混乱をもたらすものだからです。

その意味からいっても、即刻「一票投票」は中止しなければなりません。労働組合がその団結を危うくする道に踏み出すことなど言語道断の行為です。

「四党合意」という不当労働行為の受け入れ、その賛否を問う「一票投票」の実施など、何よりも組合民主主義を踏み躪る行為に他なりません。

解雇撤回闘争の原点に立ち返り

新たな再出発を!

この間、何度も提起してきたように、求められているのは、解雇撤回闘争の原点に立ち返って再出発することです。

七・一臨大八・二六総開大会を前後する、この三カ月あまりの国労闘争団・家族の不眠不休の闘いは、どの観点から言っても日本労働運動史上に燦然と輝く熱き闘いと決起でした。

この闘いの中で、国労はその次代を築き担う活動家を続々と次々と生み出したではありませんか。そのうねりはこれからも全国津々浦々からもたらされるものです。

国鉄労働運動の歴史に新たな

ページを加えた闘争団の決起!

一〇四七名の解雇撤回闘争は、「四党合意」粉碎の闘いを通して、国鉄労働運動の歴史に新たなページを加えました。勝利への確かな土台が築かれようとしているではありませんか。この闘いをさらに押し進め、「一票投票」を断固粉碎しようではありませんか。

第二九回定期大会に結集を

とき 二〇〇〇年十月一日

十時

ところ DC会館・大会議室